

⑤ 観光

雇用創造目標：約800人

〔※観光入込客数100万人増の直接効果による雇用誘発推計値〕

【現状・課題】

- 平成22年の県内への観光入込客数が初めて年1,000万人を突破したが、実態は水木しげるロードへの入込が全体を牽引。
- 平成24年は「まんが王国とっとり」建国イヤー。これを起爆剤として、海外からも含め、県内にくまなく観光客を呼び込み、県内への滞在時間増、宿泊の拡大、観光消費額の増加を実現することが、宿泊施設や観光関連業界の雇用改善につながる。

【現場の意見】

- ①県内地域間、近隣府県との周遊コースづくりが必要。
- ②外国人観光客を受け入れるための機運醸成、受入環境整備などの基本的なことが大事。
- ③外国人観光客周遊の利便性を図る必要があり、特に二次交通整備が必要。
- ④現在、緊急雇用を活用している外国人観光客の受入・案内拠点（サポートセンター・観光案内所等）の外国人案内人を引き続き雇用していくためには県の支援が必要。

【雇用創造への展開方向】

- ①「国際まんが博」の開催等、市町村や民間と連携した「まんが王国とっとり」の国内外への情報発信と誘客推進。
- ②山陰海岸世界ジオパークの観光活用をはじめ、地域の豊かな自然・歴史・文化を活かす観光魅力づくりの推進。
- ③山陰文化観光圏の取組推進など、県内地域間の連携や近隣府県との連携強化と、長時間の周遊・滞在・体験が楽しめる旅行メニュー造成など受入体制の整備を推進。
- ④外国人観光客の誘致や受入環境整備のさらなる推進。

【目標】

- 年間観光入込客数100万人増（対H22比）、外国人宿泊客倍増（H21:1.4万人→年間3万人）
⇒ 約800人（入込客増加に伴う観光消費額の増加による雇用拡大）

【目指す姿】

- 観光客入込客数の増、それに伴う県内への滞在時間増、宿泊の拡大、観光消費額の増が生む波及効果により雇用拡大を図る。

【主な事業】〔※④:24年度予算額、③:23年度予算額、単位:百万円〕

①まんが王国とっとり建国記念事業〔④ 934 ③ 0〕

（内容）「国際マンガサミット鳥取大会」の開催（11月）、
「国際まんが博」の開催（8月～11月）、
市町村・民間団体イベント支援等
（補助率）1/2～定額（補助総額）約100,000千円

②外国人観光客受入向上推進事業〔④ 44 ③ 53〕

（内容）案内看板の多言語化、外国語ホームページ・外国語パンフレットの作成、
もてなし研修会の開催、クレジットカード対応機器の設置を支援
（補助率）1/2（補助総額）約7,500千円（限度額1件50万円）

※ その他、平成24年度のJTB送客キャンペーン「日本の旬」、JR「DESTINATION キャンペーン」、「古事記1300年」などの本県の観光魅力を全国に発信する機会に向け、魅力づくりと効果的な情報発信に意欲的に取り組む。

観光入込客100万人アップ

外国人観光客含む観光入込客数増に伴う観光消費額の増加による雇用拡大

現 状

- ・平成22年度観光入込客数は年1,000万人を突破したが、水木ロードが全体を牽引
- ・米子ーソウル便は、原発事故の風評被害や円高ウォン安の影響により利用率低調（環日本海貨客船は好調）

平成24年度～

- ・「まんが王国とっとり」建国、山陰海岸ジオパーク、古事記関連スポットなどの観光魅力創出と効果的な情報発信



- ・外国人観光客受入環境整備（特に観光二次交通）の更なる整備

目 標

- ・年間観光入込客数100万人増（対H22比）、外国人宿泊観光客倍増（H21年、14,020人→H26年、30,000人）による観光消費額増の波及効果を雇用創出につなげる

実情把握

フィードバック(施策提案)

具体的な施策例(24年度)

- ①まんが王国とっとり建国記念事業
「国際マンガサミット鳥取大会」の開催(11月)
「国際まんが博」の開催(8月～11月)
市町村・民間団体イベント支援等
- ②外国人観光客受入向上推進事業
案内看板の多言語化、外国語ホームページ・
外国語パンフレットの作成、もてなし研修会の開催、
クレジットカード対応機器の設置を支援

支援施策の検討

- ★県内観光業界への個別意見聴取
 - ★官民一体の組織である鳥取県国際観光アクションプログラムワーキンググループ
- 【テーマ】 ・観光二次交通 ・中国市場開拓
※ テーマの新設、変更等には柔軟対応